

SESSION TALK

ふりかえりが、 "生存報告"から "未来の話"に変わるまで

おのりょー

株式会社bubo



小野 凌

株式会社bubo

- ▶ 1993年生まれ
- ▶ リユースショップ店員からIT業界へ転職
- ▶ QA経験3年程
- ▶ webシステムやFA機器の検証業務を経験

今日話すこと・話さないこと

✓ 話すこと

- ふりかえりを通じた自分の変化と気づき
- しんどかった現場での実体験
- 前を向けるようになったきっかけ
- AIを活用したふりかえり

⊘ 話さないこと

- QA・テストの技術・ノウハウ
- 振り返りの正解・やり方
- 改善活動の成功事例

CHAPTER 01

振り返りを始めた頃

振り返りワークとの出会い

- とある現場でFA機器のQA業務を担当
 - いきなり難易度の高いドメイン、苦戦しながらも学んでいく日々
- チーム振り返りを推進してくださっていた先輩から教えてもらう
 - フレームワークを選んで、スプリント単位で実施
- チーム振り返りは自然消滅したが、個人でFDLを続けていた

気が付くと半年ほど続いていた

続けられた要因

- ハードルを低く設定していた
 - 人に見せない、毎日やらない、1行でもいい
- Fun Done Learn が合ってた
 - 他はなんとなく"反省会"っぽくて嫌だった
- これやったり仕事終わり、のスイッチにしていた
- AIに要約させて遊ぶ
 - ※目的が無いので「へ～すごい」で終わり

CHAPTER 02

現場状況と自分の変化

現場の変化①

- 検証チームの再編成（2つのプロジェクト）
 - ひとつは新プロダクト
もうひとつは既存プロダクトの後継機
- 1人(自分) と 8人
 - 現行機の検証経験がある事から、自分が1人の方へアサイン
- 経験アリとはいえ新機能や新ロジックがあり難易度は高い
 - 進めようにも自力ではなかなか困難な内容

現場の変化②

- 相談できる先輩が次々と別案件へ離脱
 - 「ちょっと話しかけづらい…」人しかいない
- コミュニケーション機会が激減
 - 同じ検証チームとはいえプロジェクトが違う
 - 話すのは5分足らずの朝会のみ
- 増員があるも新プロダクトの方へ

孤立

- 席は近いが、見えない壁
- 相談先を失う
- **"聞き方"** もわからなかった
- スケジュールは遅れていないが、 **"うまくいってはいない感"**
- 常に**"しんどい"**とを感じるように

それでも、振り返りは続けていた

でも内容は・・・

- 「俺は今日もやったんだ」という足跡を無理やり残していた
- なんとか明日現場に行くための「理由作り」

= 生存報告

壊れ始める

現場到着でエネルギーを使い切る

チームメンバー全員「敵」

不眠・認知機能の低下・ブレインフォグ

壊れる

- ついに増員してもらえるように
業界未経験者
- 「オンボーディングよろしく」
できるわけない

数日たったある夜

「あ、明日行ったら終わる」

→ 翌朝診断してもらい、ドクターストップ。休職することに。



CHAPTER 03

一休みし、戻ってくる

復職

- 別案件に増員という形で参加
- テスト実行から再スタート
- 考えてやれてはいる感覚

振り返りで積み上げていた学びが、無意識に生きていた

「前の現場での経験は無駄じゃなかった」という実感がわき、ちょっと前向きに

外の空気を吸いに行く

- コミュニティカンファレンスや勉強会、ウェビナーに参加
 - DevOpsDays Tokyo, TestingOsaka, JaSST nanoなど
- 外の世界で「戦っている人」「楽しんでいる人」たちの話から刺激をもらう

新しい技術（特にAI）、QAがこれからどうあるべきか
先のことを考え始めるきっかけに

"自分を"ふりかえると

当時の自分には、こんな「勘違い」があった

"自分で抱えることが責任感だと思っていた

"できなかつたら評価されない、仕事が無くなる

"助けてくださいと言える人のほうが強いという発想がなかった

視座が低く、自分のことしか考えていなかった

CHAPTER 04

ふりかえりと自分の変化

ふりかえりも変わってきた

BEFORE

- 今日のことで精一杯
- 過去の失敗・反省を見る
- 出勤の理由作り

振り返り



AFTER

- 学びたいことを書く
- やってみたいことを書く
- 未来に向かうための記録

ふりかえり

AIを本格活用する

自分自身の定点観測

- 日報をAI要約してもらう
 - Fun/Done/Learnごとに分析
 - 考えや行動の原動力、感情やモチベーションの変化・傾向を分析
 - 一か月単位でも実施、長期的な観察も可能
 - 読み直さなくても今の自分が一目でわかる

書いても読み直すことがない という弱点を克服
→ため込むだけだった日報が「参照できるデータ」に変わった

教訓



続けること

うまくいかない日々でも、続けていれば将来の自分を救うかもしれない



小さくやること

完璧を目指さない。
どんな状況でも続けるにはやはり最小単位にすることが不可欠。



頼ること

周りの人だったり、今の時代ならAIでも。一人で抱え込まない。



ご清聴ありがとうございました